

十和田湖国立公園

十和田湖は、青森県と秋田県にまたがる二重カルデラです。約 20 万年前に始まった一連の火山の噴火により誕生しました。2018 年の時点で、面積では日本 12 位、深さでは 3 位です。海拔 400 メートルに位置する湖岸の長さは、約 46 キロメートルです。季節を問わずに美しい十和田湖ですが、特に人気が高いのは、晩春（5 月～6 月）および秋季（10 月）の景色です。

紫明亭展望台と日本新八景の碑

1927 年、東京日日新聞と大阪毎日新聞が、一般からの投票により日本新八景を選定しました。

湖沼の部門で十和田湖が最優秀に選ばれると、1931 年にはその快挙を記念し、日本新八景の碑が建てられました。展望台に置かれた理由は、十和田湖が最も良く見える場所だからです。

この看板の右手に見えるのは発荷峠展望台です。左手には、湖の向こう岸にカルデラの外輪部をなす御鼻部山が見えます。東側に見えるのは、御倉半島と中山半島です。